

◆ 議長記者会見概要

日 時：令和元年5月22日（水）14：15～14：28

場 所：県議会理事者控室

出席者：粒谷友示議長、森山賀文副議長



粒谷友示議長

森山賀文副議長

〈就任にあたって〉

○粒谷議長

この度、多数の議員のご支持をいただきまして、議長に就任させていただきました。たいへん光栄に思っておりますと同時に、職責の重さを感じております。

現在奈良県議会では、政策提案や情報開示等、開かれた議会を目指して積極的に取り組んでおりますが、県民の皆様方におわかりやすい運営を引き続き行っていきたいと思っております。二元代表制の一翼を担う議会の代表者として、理事者とも十分協議しながら、よりよい奈良県勢の発展に向けて職責を全うする所存でございます。

県民の皆様をはじめ、知事、市町村長及び報道機関の皆様には、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○森山副議長

この度、多数の議員各位のご支持により、副議長に選ばれ、誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さに、身の引き締まる思いであります。

今後も県政の課題に関して十分議論を尽くすとともに、さらなる議会改革に向け、県民の方々のお声に耳を傾けながら、議会機能が十分発揮できるよう、議長を補佐していく所存でございます。

関係各位の皆様には、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<質 疑>

Q：特に取り組みたいことをお伺いします。

議長：県は、「奈良モデル」として、市町村と一緒にあって取り組んでおられますけれども、我々議会も、39市町村と一緒にあって取り組むことが非常に大事だと思います。私は生駒市選出ですから、南部地域についてはあまり存じ上げないこともありますが、やはり「オール奈良」として、議員もしっかり勉強し、それぞれの市町村の実情を十二分に把握したうえで進めていくことが大切だと考えています。

議会改革というのも当然ありますけれども、私個人の思いとしては、動きがある建設的でポジティブな議会を運営したいと考えています。今後、各派連絡会等の場で皆さん方と協議しながら検討をしていきたいと思っております。

副議長：議長と同様ですが、地域それぞれがより輝くにはどうすればよいかについては、奈良県全域の課題だと思います。今までがんばってこられたおじいさんやおばあさんから、今お腹の中にいる赤ちゃんまで、すべての世代の方々が、この奈良県に縁があってよかったと感じていただき、安心して健やかに暮らせるような地域づくりを目指したいと考えています。

あわせて、奈良県にはすばらしい歴史的資源がたくさんありますから、それを活かして、インバウンドも含め、県外から来られる方にも安心して過ごしていただけるような場所づくりが大切だと思っております。

Q：お二人とも、議長職、副議長職は初めてですか。

議長、副議長：はい、初めてです。

Q：令和としては初めてで、議長については第100代ということで、記念になると思いますが、今のお気持ちをお聞かせください。

議長：節目の100代目ということで、改めて身の引き締まる思いと、奈良県の歴史というものを感じつつ、過去も現在も未来も大事にしながら、新しいものを求めるためにも、古き良きものである過去の歴史を十二分に尊重しながら議会運営に取り組んでいきたいと思っています。

Q：副議長選挙の結果について、感想をお聞かせください。

副議長：私は元々こういう役は当たらないと思っていたので、まさに青天のへきれきです。しかし、令和元年という歴史の大きな節目のタイミングで選んでいただいたことに感謝し、しっかりと取り組んで参りたいと思っています。